

教育委員会議事録

平成30年9月臨時会

海老名市教育委員会

教育委員会議事録
(平成30年9月臨時会)

- 1 日 付 平成30年9月28日(金)
- 2 場 所 えびなこどもセンター201会議室
- 3 出席委員 教育長 伊藤 文康 教育委員 海野 恵子
教育委員 平井 照江
- 4 出席職員 教育部長 岡田 尚子 教育部次長 小宮 洋子
(学校教育担当)
参事兼教育総務 中込 紀美子 就学支援課長兼 小林 丈記
課長 指導主事
就学支援課健康 長田 茂美 教育総務課施設 後藤 努
給食係長 係長
- 5 書 記 教育総務課総務 阿部 優文 教育総務課主事 谷田 久美
係長
- 6 開会時刻 午前10時30分
- 7 付議事件
日程第1 報告第18号 海老名市中学3年生応援インフルエンザ予防接種
助成金の交付について
日程第2 議案第23号 海老名市学校施設再整備計画の策定について
- 8 閉会時刻 午前11時15分

○伊藤教育長 本日、9月臨時会の出席委員、海野委員、平井委員ということで、私も含めて3名で定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。これより教育委員会9月臨時会を開会いたします。

本日の傍聴はなしということでございます。

今会の署名委員は、平井委員、海野委員にそれぞれよろしく願いいたします。

○伊藤教育長 本日の議題は、臨時会ということで、1点目は報告事項について、**日程第1、報告第18号、海老名市中学3年生応援インフルエンザ予防接種助成金の交付**についてを議題といたします。

それでは、説明をお願いします。

○教育総務課長 資料の1ページでございます。報告第18号、海老名市中学3年生応援インフルエンザ予防接種助成金の交付についてでございます。こちらは海老名市中学3年生応援インフルエンザ予防接種助成金を交付するため、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第4条の規定により報告するものでございます。詳しい内容につきましては就学支援課健康給食係長より説明いたします。

○健康給食係長 では、説明させていただきます。名前は、海老名市中学3年生応援インフルエンザ予防接種助成事業ということで、これは、入学試験や就職試験などの人生の節目を控える中学3年生が、インフルエンザに罹患することなく、実力を発揮できるようにとの思いから実施するものです。インフルエンザワクチン接種は、健康保険が適用されませんので、接種費用が全額自己負担となることから、補助を行うことで保護者の負担軽減を図るもので、中学3年生のみを対象とした取り組みでございます。

対象者です。海老名市立中学校に在籍する中学3年生、海老名市に住民登録があり、私学等に在籍する中学3年生を対象としております。平成30年9月1日現在対象者としては1,273名です。うち私学等に通われる中学生が98名です。

自己負担額といたしまして、医療機関との単価契約は5,205円となっております、そのうち自己負担を1,000円出していただき、4,205円を市が補助しますという事業でございます。

接種方法としましては、市が配付する助成券、はがきのようなものを指定の47医療機関に持って行って接種していただければ補助が受けられます。医療機関でもその助成券があることで中学3年生が確定できるということで、そのはがきを発行しております。

助成対象期間ですが、平成30年10月1日から平成30年12月31日としております。この期間は、お医者様に相談しましたところ、入学試験が1月末からということであれば、その間の接種が一番よいだろうということで、その期間になりました。

今後のスケジュールとしては教育委員会での承認をいただきたいと思います。

説明は以上でございます。

○伊藤教育長 今、説明がありましたけれども、要綱等は別紙のとおりということで、確定のための協議は文書法制課の担当の方としていますよね。

○健康給食係長 調整済みでございます。

○伊藤教育長 それで、内容としてはこのような要綱で行うということですね。

○健康給食係長 はい。

○伊藤教育長 わかりました。文言の訂正等はあるかもしれませんが、このような要綱で行うということでございます。

何かご質問等ありましたら。

○海野委員 中学3年生にとってはとても助かることだと思います。ちょっとお聞きしたいのですが、助成券というのはどのように窓口に来たらもらえるのでしょうか。

○健康給食係長 公立の中学校については学校を通して配付してもらいます。私学等に通われている生徒については郵送でお送りするという形をとります。

○海野委員 それで周知されるということですね。

○健康給食係長 はい。

○海野委員 ありがとうございます。

○健康給食係長 保護者には、こういう事業をやりますということでその前にお手紙を出しております。9月20日に議決をいただきましたので、それ以降で手紙は出しております。

○海野委員 ありがとうございます。

○伊藤教育長 今言ったように、議会には9月補正予算ということで出して、9月20日に議決があって議会の承認を得ています。今後実施という形ですので、私のほうから報告という形で上げさせていただいたところでございます。

○平井委員 すごく良いことだと思います。もう、ニュースで早速、新学期が始まってからインフルエンザで休校しているというような状況を聞いています。今までだったらあり得ないというような感覚なのですけれども、もう1年中を通してこういう状況なので、特

に入試を迎える子どもたちにとってとても良いというか、補助的には自己負担は5,205円のうちの1,000円ということですから、相当の額だと思えるのですが、このような形でやっていただけるのをとてもうれしく思います。市でも未然に防ぐというようなところで健康に関しての面では力を入れてきていますので、そういう点では今、65歳、77歳、88歳ですか。そこまでも広げて、こういう計画をしてくださっているのは本当にいいことだなと思います。保護者の方はぜひこれを利用していただきたいと思います。せっかくこのような形で助成事業を組んでくださったのですから、そういう部分では活用していただけたらいいなと思いますし、学校にもぜひそういうものを伝えて、子どもたちが家庭に持って帰るような状況がくれたらいいかなと思います。

○健康給食係長 ありがとうございます。

○伊藤教育長 いずれにせよ、私が担任のころは学校の予防接種で、学校に来ているみんなが受けていました。ただ、あくまでも任意接種ですからね。でも、例えば高校受験だと、インフルエンザでも行かなければいけないのですよ。高校の措置としては、別室を用意しているのです。同じ会場に入れられないので。別室で受験しなければいけないけれども、多分体がだるかったり、熱が高かったりする中では、機会は与えられても、実力を発揮でなかったりもしますから、ぜひ平井委員の言うように保護者にもちゃんと働きかけて——これは話がとまらないですね。

予防接種は全員が受けていないと、1人がインフルエンザになるとクラス全体に広がってしまいますから。それでも予防接種を受けていれば軽く済んだり、またかからなかったりするということはあると思うのですけれども、本当に多くの子たちに受けていただくのが一番予防にはなるなとは思っているところでございます。

先ほど平井委員から、保健福祉部で65歳、77歳という話がありました。

○健康給食係長 65歳、77歳、88歳の方が無料で接種できる補助があります。それ以外の65歳以上の方とかは、1,000円個人負担する形です。今までは1,700円だったと思います。

○伊藤教育長 高齢者の方も安く受けられると。

○海野委員 ちょっと希望なのですけれども、学校の先生方へもこういう補助をしていただけると、全員予防接種を受けていただけるのではないかと。先生から広まるという場合もあるので、これはぜひご検討していただければと思います。

○伊藤教育長 教員にもですね。ただ、教員はそれなりの給料をいただいて働いています。市の職員も同様でございますが。そういう意味では、これを機に校長会でも職員等も

予防接種を行うようにする声かけはしたいと思います。ただ、海野委員は優しいから、教員にも補助したらということですよ。

○海野委員 そうですね。

○伊藤教育長 ほかにはいかがですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、これは報告事項ということで、このように進めたいということでございますので、ご質問等なければご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、日程第1、報告第18号を承認いたします。

○伊藤教育長 続きまして、審議事項に入ります。

日程第2、議案第23号、海老名市学校施設再整備計画の策定についてを議題といたします。

それでは、説明をお願いいたします。

○教育総務課長 それでは、資料9ページでございます。議案第23号、海老名市学校施設再整備計画の策定についてでございます。本議案につきましては、海老名市学校施設再整備計画の策定に当たり、議決を求めるものでございます。

引き続き、計画の中身について説明させていただきます。

海老名市学校施設再整備計画の策定に当たりまして、前回、パブリックコメントを実施しますということをご報告させていただいています。広く市民の声をいただく場として、9月6日から25日までの間、パブリックコメントを実施いたしました。結果、意見はございませんでしたことをご報告させていただきます。

次に、海老名市学校施設再整備計画の中身でございますけれども、計画案のところから、全体の構成につきまして変更はございませんが、何点か修正したところがございますので、その点についてご説明をさせていただきたいと思っております。

まず、こちらの冊子1ページでございます。1ページの図でございます。こちらにつきましては、委員からもちよっとわかりづらいというようなご意見がございまして、海老名市学校施設再整備計画が海老名市公共施設再編（適正化）計画の分野別計画の1つとして、わかりやすいような形での位置づけをした図に変更しております。

次に、24、25、26ページです。こちらは、前回から見やすいようにA3判に拡大しております。

次は33ページです。こちらの再編エリア図も大きくしております。

その次が37ページです。学校施設再整備方針の図を少し見やすいような形で整理させていただいております。上の部分とか、ちょっとわかりづらかったところを整理しています。大きく修正した点はこちらです。

その次に、この計画を策定するに当たりまして、昨年5月から海老名市学校施設再整備計画策定検討委員会を立ち上げまして、多くの時間をかけて議論、検討を重ねてきました。導き出された方針、そこまでの思いとか、子どもたちの健やかな成長を願う大人たちの思い、学校のあり方、教育委員たちの思いというところで「はじめに」というページと「むすびに」というページを追加させていただいております。

「はじめに」は最初ですね。表紙をめくっていただいている「はじめに」です。こちらは読み上げます。

はじめに

わが国は、急速な少子高齢化の進展により、これまでに経験をしたことのない、人口減少社会に入りました。このことは、今後の経済や労働人口、社会保障など社会全体に大きな影響を与えることが想定されます。

この少子高齢化は、海老名市においても全国とほぼ同様に進展しており、本市の児童生徒数は、平成15年度から平成25年度までは微増傾向であったものの、昭和60年度をピーク（15,866人）に、平成30年度の児童生徒数はピーク時の66%（10,538人）と約5,300人減少し、市全体としては学校の「小規模校化」が進んでいます。

一方、海老名駅西口の区画整理事業や駅間開発等により、利便性の増した海老名駅周辺地域においては、今後しばらくは、急激な児童生徒数の増加も予測されています。

このように海老名市では、学校の小規模校化と大規模校化が同時進行することにより、規模のアンバランスが拡大し、教育効果への影響も危惧されます。

さらに、市内の多くの学校校舎等が高度経済成長期に整備されたことから、築

30年を超える建物が86%を占めるなど、老朽化が進行しており、その対策も喫緊の課題となっています。

こうした状況を踏まえ、海老名市教育委員会は「老朽化が進む校舎の長寿命化とともに、少子化や学校施設のあり方に対応した施設の再編成を考慮した具体的な再整備計画」について、海老名市学校施設再整備計画策定委員会へ諮問し、平成30年8月3日にその最終答申を受けました。

この最終答申を踏まえ、「持続可能」な行政運営を可能とするとともに、現在及び未来のえびなの子どもたちに「夢」を持ってもらうことができる計画を目指し、「学校施設を取り巻く現状と課題」、「児童生徒数の将来予測」、「施設の老朽化状況」、「今後の施設整備・保全の考え方」等を考慮し、「海老名市学校施設再整備計画」を策定いたしました。

今後はこの計画に沿って、学校と教育委員会、そして地域のみなさんの協力を得ながら学校の再整備を進め、より良い教育環境の整備と学校教育充実を図ってまいります。

が「はじめに」でございます。

続きまして「むすびに」も読み上げさせていただきます。44ページの次のページになります。

むすびに

学校は、児童生徒、保護者と教職員はもちろんのこと、その地域のみなさんの思いや協力により支えられ、築きあげられてきたものです。

しかし、時の流れとともに、学校施設の老朽化、財源不足への対応、学校ICT化やユニバーサルデザイン化、そして小中一貫教育やコミュニティ・スクール等、社会の要請や学校のあり方が変化し、学校も変化が求められています。

本計画策定にあたっては、海老名市学校施設再整備計画策定検討委員会（以下「策定検討委員会」という。）に諮問し、11回にわたる審議の末、「持続可能」で「夢」のある、そして実現性の高い答申を受けました。

策定検討委員会では、『将来、児童生徒数が減少し、施設維持や改修する財源

不足が想定される中、「次の世代に付けを回さない」ために「我々大人たちが今何をすべきか」という共通理解のもと策定作業が進められたとのこと。

そして、答申では、『学校は、少子化・核家族化が進む現代社会において、人間関係や集団のルール、自己抑制力等、様々な力を身に着ける重要な場であり、子どもたちの「生きる力」を育む意味からも、学区再編などにより、適正な学校規模を維持することは有益である』『地域社会における人間関係が希薄化する中、学校は地域におけるコミュニティの核として機能することが求められており、他の公共施設との複合化や多機能化を図り、子どもから高齢者まで幅広い市民が集い、語らい、学べる「みんなの学校」として進化していくことが望ましい』と結論づけられています。

これは、まさに私たち教育委員一人ひとりの思いでもあり、計画全体の礎ともなっています。

本計画の中には、未来の学校の姿に関する市内小中学生約1,000人のアンケート調査結果や、総合教育会議でいただいた「児童・生徒からの提案」など、多くの市民や子どもたちの声、そして思いが散りばめられています。

教育委員会では今後、今と将来の海老名の子どもたちが、夢をもって人生を歩むことができるよう地域のみなさんの理解と協力をいただきながら、学校施設の再整備を進めてまいります。

という文章を追加させていただいています。こういったことも含めまして、海老名市学校施設再整備計画の策定をさせていただきたいと思いますので、ご意見をいただければと思います。よろしく申し上げます。

○伊藤教育長 ただいま説明がありました。もう1度確認しますが、パブリックコメントはなかったということでございますか。

○教育総務課長 はい、ございませんでした。

○伊藤教育長 9月の総合教育会議でこの説明を北部地域の方々を対象としてやったときも、市長から、意見はありませんか、と聞きましたがありませんでした。そういう中で、この方針については1度、計画として我々は定めておりますが、再度計画として冊子の形で海老名市教育委員会の、海老名市学校施設再整備計画を定めたいということでございます。説明に対するご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

○海野委員 この間の内容より「はじめに」と「むすびに」が追加されて、より一層皆さんの思いが詰まって、書かれているのですばらしいことだと思います。中でも「現在及び未来のえびな子どもたち」にと書いてあって、「現在及び未来の」ということは、これからこういういろいろな整備を進めていく上で、今の子どもたちにとっても整備をしながら夢を与えてあげられるようにしてもらえるとすることはすごくうれしいことだと思います。

1つ、社家小学校でこの間、パソコン教室がなくなって、2部屋クラスが増えたということで、夏休みの間に工事が行われたと聞いています。2学期になって、家へ帰ってきて、部屋が変わったのよ、すごい、きれいになってねとすごくうれしそうに話をしていたのですね。

○伊藤教育長 お孫さんが。

○海野委員 はい。すごくもうわくわくするという気持ちが伝わってきました。夏休みの間に変わったということで、これはどんなことになるのかしらという夢を持てる環境が、小さいかもしれないですが、ああ、すばらしいなという感想を持ったので、これから整備していく中で、子どもたちがそういう夢を持てるように進めていただければなとすごく思いました。感想ですけれども。

○伊藤教育長 私の感想というか、先ほどもちょっと話しましたが、ある学校の朝会に行ったら、伊藤教育長、今、計画をつくっているでしょう、うちの学校なくなるの、とおっしゃっている方がいまして、そういう見方もあるのかなというのは、すごく思います。ただ、この海老名市学校施設再整備計画は単なる統廃合とかなんかではないと、そういうことがうまく理解してもらえればいいのですが、しっかり読み込まなければいけないもので、すぐにぱっと見えません。いろいろな図、1番目とかを見ると、あれっ、うちの学校、なくなるのかしらと思ってしまいますので。これはダイジェスト版みたいなものがありましたっけ。概要版みたいなもの。そういうものでいいから、本当に市民の方々に見ていただきたい。この計画を全部読み込むのは結構大変です。本当にうまく伝わるようなものだけは、計画は計画で全部読み込めばちゃんとわかるのですけれども、市民がちゃんと、そういうことではないのだよ、我々が考えた思いとか、また、根拠になるものとか、そういうことがわかりやすいものがあると誤解されないで済むなと思いますので、その点はしっかりとつけ加えてほしいというか、それも出してほしいなと思います。

あとは、この計画自体は今、平成30年9月の我々海老名市教育委員会の中で議論してい

ますけれども、今後見直しをする際は、この形は形で出しますが、ある程度のスパンの中で、委員さん方がよろしければ、例えば5年ごとにはこれに対して見直しを図るとか、または、何らか環境が変化する場合がありますので、この推計の中では西口の開発については言及してありますが、もし南部のほうで、急な開発があったときは一気に変化することもありますので、その都度条件が変わった場合、また定期的にも見直していくということを今の教育委員さん方に確認してもらいたいのですが、それはよろしいですか。

○海野委員 はい。

○平井委員 そうですね。それは絶対必要だと思います。これだけ災害とか、いろいろなことが起こってしまっているのので、どういう状況になるか、1年先、2年先もわからないわけですから、やはりそういう危機意識を常に私たちが持ちながら、学校施設に対処していかないとちょっと難しいかなと思いますので、折々に話題に乗せていくことは必要かなと思います。

○伊藤教育長 では、再度確認ですけれども、海野委員、平井委員、計画はこの計画として今これを策定したとしても、その都度何かあった場合、また定期的にこれは見直すようなものであるということで、教育委員さん方の確認ということでよろしいですか。

○海野委員 それと、今言った進行状況の報告みたいなものも一緒に折々に。

○教育総務課長 計画の中ではおおむね10年ごとに定期的な見直しというところは盛り込んでいます。継続的に運営していく方針としても盛り込んでおりますので、そういう社会情勢の変化とかには対応できるような形はもちろんなのですけれども、定例教育委員会の中でも報告していくというのは大事だと思います。

○伊藤教育長 では、進捗の報告はこれからも教育委員会定例会等で行っていく、課題研究会もありますから、そういう教育委員が集まる場で折々行っていくということでの確認をお願いいたします。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○海野委員 ちょっと気になったのですけれども、体育館の空調とか、そういう整備をこれからされると思うのですが、体育館の空調だけ取り上げても今後に向けてはちょっとらちが明かないのではないかと思うので、体育館の改修から始まって、空調を取りつけるというふうに順番を、それこそさっきの海老名市学校施設再整備計画にのっとり改修を進めていただいたほうが良いのではないのでしょうか。必要だから取りつけましょう、ではなくて、そういう状況等、さまざまな環境を考えながら進んでいってくださればなと思って

おりますので、よろしく申し上げます。

○伊藤教育長 それについては、議会の一般質問で私どもが、勝手にではないですけども、ちゃんと答弁しておりまして、体育館の改修をどのように進めるかは、また別計画も必要かなと思っています。緊急の避難所とする場合は間に合いませんから、冷風機とか簡易のものをつけるということで対応するしかないですけども、改修するというときには、今までの体育館は、ただ子どもたちが部活と体育ができればいいということで建ててあるものですので、これが避難所となったらどのようなものがあるのか、また、地域の集会所として地域の人たちが使うときはどのようなものがあるのかということで、やはりもう1回体育館自体の構造、要するに用途と、そのための施設はどんなものがあるのか、床面積は今のほうがいいのか、もうちょっと広いほうがいいのか、ステージは要るのか要らないのかとか、そういうものも含めて見直す中で、空調はどうですかという計画をしていけないといけないかなと思います。今からの時代、同じものをただ改修したり、つけ足してつくったりするような時代ではないですから。先を見据えてつくらなければいけないので、必要なら体育館は体育館で別に建てて、具体計画、工事の実施計画みたいなものとかは別でつくる必要があるのかなとも感じているところがございますので、海野委員のご意見のとおり、そのように考えたいと思っております。

○海野委員 よろしくお願いたします。

○平井委員 現状の中で空調だけ取り上げても難しいかなと思います。すき間風はいっぱいありますし。当面は違う形での暑さ、寒さ——どちらかといったら暑さのほうがですけども、対策するしかないのかな、複合施設的な考えでいかないと、もうこれからは成立しないかな、と思います。だから、教育長がおっしゃったようにいろいろな視点から考えて、やはりどういうものが地域にふさわしい建物なのか、その中に運動できる体育館や設備を入れてという形にしていかないと、もう個々に建物を建てていく時代ではないと思うので、そのあたりは早急に話し合いをして、すぐという形にはならないでしょうけれども、3年後ぐらいに1つどこかの計画はあっていいのかなという思いはありますね。もう5年先ではちょっと遅いので、ある程度今から始めて、3年先ぐらいのところどこか1カ所、そういうものをつくってみて、実際に運営してみて、不都合があれば見直すというところで。もう今から動いていかないと、あっという間に5年、10年過ぎてしまうと思うのですね。そこまで待っているというのは相当きついものがあるので、試行的ではないけれども、1つここら辺で、海老名市学校施設再整備計画も出たところなので、一歩踏み出

してもいいかなと思います。

○伊藤教育長 10年の具体計画ではどうなっていますか。

○教育総務課長 10年の計画の中では、やはり体育館の老朽化がとても進んでいますので、先行して体育館の整備に入る予定にしております。

○伊藤教育長 それは、この冊子の中にはありませんでしたっけ。

○教育総務課長 あります。41ページです。

○伊藤教育長 今、予定ではあるのですけれども、屋内運動場大規模改造というのがありますので、そういう中では。

○平井委員 だから、私はもう改修にお金をかけるのはすごくもったいないと思っているのですね。

○教育総務課長 そういう中で、教育長が言われていたようにステージが必要なのかとか。

○平井委員 改修でそれだけのものができればいいですけれども、今ある体育館の中でそれに耐え得るといえるか、ある程度の改修の中で可能なら、建てかえではなくて、それでもいいのかなとは思いますが。

○伊藤教育長 市長が総合教育会議で東柏ヶ谷小学校の子どもに、あなたたちは柏ヶ谷中学校に行くのでしょうかと言いましたが、この計画では2020年、平成32年には柏ヶ谷中学校の屋内運動場大規模改造が入っています。この運動場の部分は結構入っていますので、数年のうちに。ただ、これも計画ですので、もちろん学校の状況とかなんかを精査しながらですが。でも、一応この中に入っています。柏ヶ谷小学校、中新田小学校、上星小学校、柏ヶ谷中学校はもう2年後には改修されますので、そのときも、どんな形にするかを考えないと。さっきも言ったように、ただ体育と部活だけができる体育館ではなくさないと。

○平井委員 今の時代はね。

○海野委員 本当に多機能化ですよ。

○伊藤教育長 そうですね。

○平井委員 まさしく、これだけ高齢者、自分を含めてですけれども、増えてくると、やはり地域でいろいろなことができるという、先ほどからも出ていますが、いろいろなものに活用できるような機能を入れていかないと、もう難しいのかなと思います。あとは土地的にもそんなにもう多くの買収ができるわけではないし、今あるところを活用していかないと。近くの人が集える場所というのは大きいのかなと思いますので、そのあたりも含め

て1つつくり上げられたら、本当に夢があっていいだろうと思います。

○伊藤教育長 本当に。そういう意味では夢のある計画ですよ。

○海野委員 そうですね。

○平井委員 先ほどちょっと出ていますけれども、やはりいろいろな情報が出てしまうと、特に今、乳幼児の子たちとか、海老名に住んでくださいというふうな形でやっていますよね。できるだけというような中で、やはり親が選ぶのは、立地的にもあるけれども、学校が近くにあるかなとか、そういうことも含めて居住地を決めていくので、このあたりはきちんと保護者にも伝わるというか、乳幼児も含めて、保護者にきちんと、今、海老名はこういう状況にありますよということを伝えていくことも必要かなと思います。それは、先ほど教育長がおっしゃったように、何か冊子なり何なりで知らせておくとか、下のこどもセンターもあるわけですから、そういうところに置いて、来た人にちょっと目を通してもらうとか、今、海老名はこのようになっているのだ、このような形で子どもが学んでいけるのだというのがあるのと親もちょっと安心できるのかな。自分の娘を見ている、学校がどこにあって、駅がどこにあって、どのような環境の中で子どもを育てていくのかなと、最近そんなことを口に出すようになったので、そういうことも含めて、親は居住地を選んでいくのだろうし、育てやすい場所も選んでいくのだらうと思うと、海老名が今実施している、できるだけ皆さんに住んでもらって、住みよいまちにしていきましょうというところにもつながっていくと思うので、ぜひその辺、できるところからやっていただきたいなと思います。

○伊藤教育長 そういう意味でいったら、概要版ができたなら、こどもセンターはもちろんですけども、いろいろなところに置かせていただいて。

○教育総務課長 そうですね。

○海野委員 広報に特集を組んでいただいて、1面で。

○伊藤教育長 そういう意見もございましたということで。

○海野委員 意見ということですね。

○教育総務課長 承りました。

○平井委員 あと「はじめに」と「むすびに」の文章がとてもよくまとめていただいて、「むすびに」の文章を読むと、ちょっとうるっときますね。ああ、いいなと思うのと、海老名って、こんなふうになっていくのかなという思いをこの文章を読ませていただいて感じています。

○伊藤教育長　そうですね。

○平井委員　すごくこの計画が引き締まったかなという感じがします。中身もすごく濃いですが、これは前から言っていますけれども、海老名市教育委員会としては最高のものだと思います。今までの中でというか、私は今までかかわってきていないですけれども、こういう時期にかかわらせていただいて、教育にかかわってきた自分の中で、こういうところにいさせていただくのもうれしいですし、今後海老名の教育がもっともっとハード面、ソフト面において充実していくのかなと。そんな思いを熱くします。

○伊藤教育長　お褒めの言葉をいただいたというか、励ましの言葉を平井委員からいただきました。

ほかにはどうですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長　それでは、確認事項で、先ほど言ったように、これは中にも書いてあるけれども、状況によって見直しを図りながらいきたいと思います、それから、概要版等があるなら、それで周知をとにかくしていただきたい。あとは「広報えびな」でも特集を組んで周知していただきたいというさまざまな要望等意見がある中で、この議案第23号を採決いたしたいと思います。日程第2、議案第23号、海老名市学校施設再整備計画の策定について、原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長　ご異議なしと認めます。よって、日程第2、議案第23号を原案のとおり可決いたします。

本日の日程は以上でございます。どうもお疲れさまでございました。